

問12. 交通安全対策について

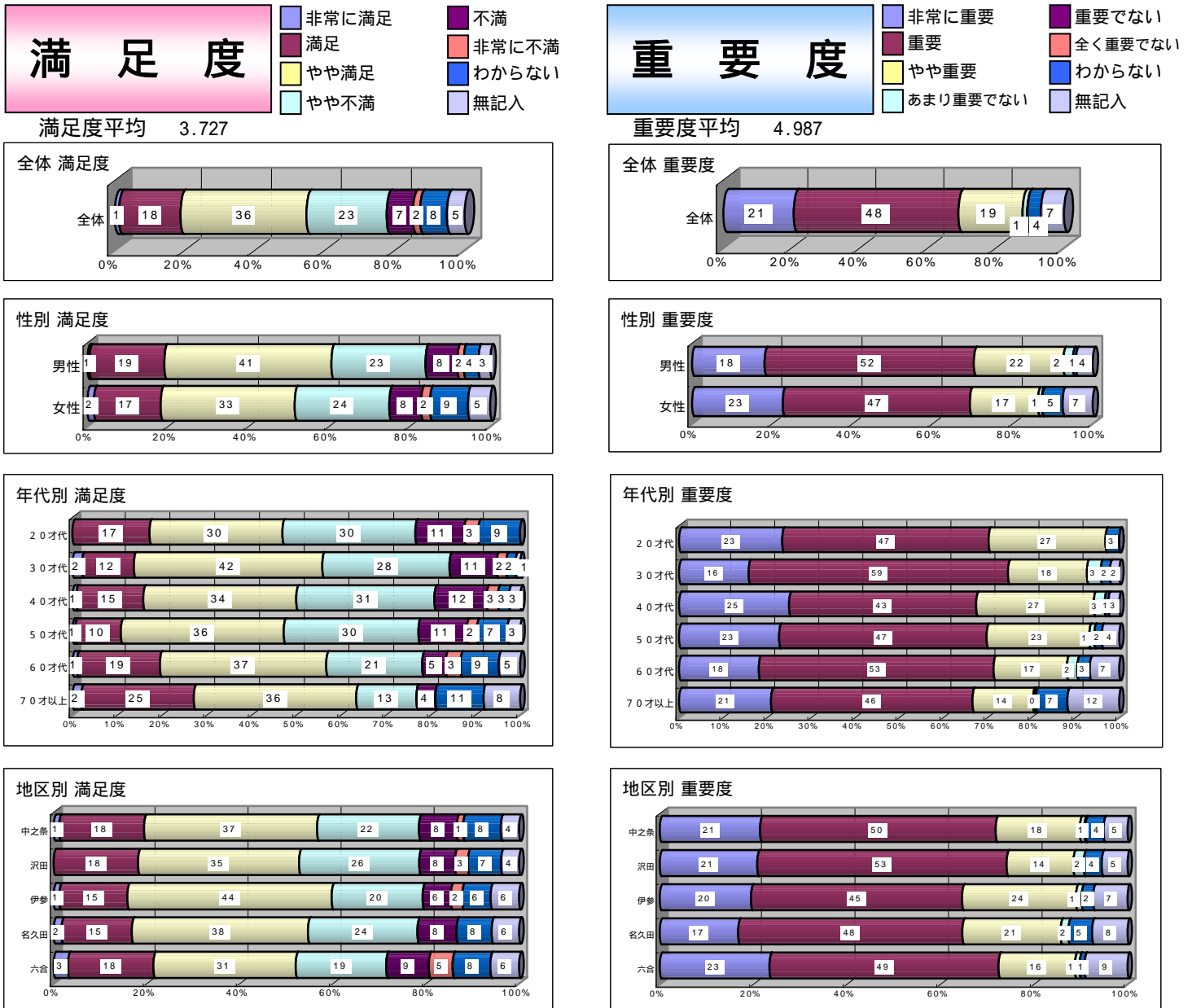
・カーブミラーの設置 ・街頭指導による交通安全の確保
 ・交通危険箇所の解消] などのことです。

全体的には88%の人が「やや重要」～「非常に重要」と思っている。そして55%の人が「非常に満足」～「やや満足」と感じている。
 ・性別では男性の方が重要度、満足度共に少し高くなっている。
 ・年代では、年齢が高くなるほど重要度が低くなっている。20～50代は不満の割合が高く60代以上の年齢では満足の割合が高い傾向にある。
 ・地域別による傾向は特に見られない。
 ・重点を置くべき項目では「歩道整備」49.4%「カーブミラーの整備」36.7%となっている。

前回調査(H20)との比較

満足度 平均3.711 3.727 順位20/32 15/32 重要度 平均4.823 4.987 順位16/32 10/32

前回と比べると伊参地区の満足度が+10%上がっている。年代別などの傾向は前回とあまり変わりはない。



この施策を推進するのにあたり、重点を置くべきと思うことの割合。 (%)

| 推進項目 | 全体 | 性別 | | | 年代別 | | | | | | | 地区別 | | | | | |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 男 | 女 | 無記入 | 20才代 | 30才代 | 40才代 | 50才代 | 60才代 | 70才以上 | 無記入 | 中之条 | 沢田 | 伊参 | 名久田 | 六合 | 無記入 |
| カーブミラー整備 | 36.7 | 37.3 | 38.7 | 21.2 | 51.6 | 40.0 | 45.8 | 43.8 | 37.6 | 25.8 | 27.3 | 35.8 | 33.0 | 40.2 | 40.3 | 50.0 | 27.7 |
| 歩道の整備 | 49.4 | 51.7 | 50.7 | 30.6 | 48.4 | 62.1 | 62.5 | 58.0 | 48.6 | 37.9 | 38.6 | 50.6 | 57.1 | 35.4 | 48.7 | 50.0 | 42.6 |
| 子ども交通安全教育 | 25.3 | 25.7 | 23.9 | 32.9 | 23.4 | 29.5 | 21.7 | 16.5 | 27.1 | 28.1 | 36.4 | 24.9 | 24.7 | 24.4 | 28.6 | 24.5 | 25.7 |
| 高齢者交通安全教育 | 32.8 | 37.3 | 30.3 | 29.4 | 39.1 | 26.3 | 35.0 | 34.7 | 35.2 | 31.7 | 20.5 | 33.7 | 35.2 | 32.9 | 29.4 | 29.6 | 31.7 |
| 信号機の設置 | 9.5 | 9.2 | 10.6 | 3.5 | 12.5 | 11.6 | 8.3 | 13.1 | 6.7 | 8.8 | 6.8 | 11.8 | 8.8 | 9.8 | 10.9 | 0.0 | 7.9 |
| 街頭指導の充実 | 5.7 | 6.0 | 5.8 | 3.5 | 3.1 | 3.2 | 5.0 | 7.4 | 8.6 | 4.6 | 4.5 | 6.9 | 6.0 | 6.1 | 5.0 | 3.1 | 3.0 |

その他の重点を置くべき項目として記入いただいたものは、次ページ

その他の重点項目

路地に街灯を設置
ドライバーのマナー向上
自転車の乗り方指導
これからの季節カーブミラーが下で見えません。何とかありませんか。
センターラインを明確にしておいてほしい。
只則地区の歩道整備
役場出るとき左側見通し悪いです
全体安全教育
冬の早朝でも曇らないカーブミラー
道路に適した速度制限、町内各所
カーブを広くして欲しい
自転車道の整備
街灯が切れる寸前、機能しないところがいっぱいある
通行量はあまりなくても安全を第一に考えてほしい
街灯が少なくても危ない場所がある
路上駐車が多く見づらい。夜間は自宅に駐車してほしい。
児童のバス通学のためのバス停の安全
信号のLED化
自転車の利用できる歩道を寄り多く。
高齢者の運転が危険なため公共交通機関利用や補助金等の条件整備
もう少し街灯がほしい
運転者指導、安全運転啓発
自転車やシルバーカーの利用できる道路
学童の送迎車生活道路内の車速厳守（交通指導教育）
狭くてカーブ道はカーブ毎にミラーが絶対必要。安全を守るため狭い道の調査急務
狭い道路の拡幅などの改良
中学生の自転車通学
地域の実情に対応した安全施設の整備
行政としての係わり方、自己責任
歩道橋の整備
安全に歩いたり走ったり出来る歩道
カーブミラーの霜対策
外灯の整備
危険箇所の道路改良